



3月号
発行

大沢ふれあいのまちづくり
協議会広報部会

<http://www.ozo.jp>

コンパクトタウン研究会全体会

光山だより二月号で参加を募らせていただきました全体会が、去る三月十九日に北区役所様をはじめ多数の参加を得て開催されました。(活動報告は、既刊光山だよりを参照してください)

「まちづくり部会」では、まちの拠点づくり、ホームページの充実、パソコン教室の開催、マップ・ポイントラリー帳の再構築等、夢が広がっていきます。「交通部会」では、高齢化が進む中、市との協議も続けつつ、フルーツ・フラワーパークの送迎バスへの便乗や自主運行に向けての準備を進めていきます。その他、注目を浴びる「農業活性化部会」では、農業塾第七期生募集中、営農ボランティアの

受け入れも話題になりました。「田園都市推進委員会」では、資金面等の課題がありますが、前向きに検討されています。「子供に関する委員会」では、気軽に参加できる「出合いの場」をと、検討が進められています。

今後、五部会の連携を深めながら課題に取り組んでいきたいと思っております。町民の皆様方のご参加、ご支援のほど、よろしくお願いたします。(北本 義利)

慰霊祭

四月二十五日(土)

午前十時三十分

改修された忠霊塔で慰霊祭を行います。どうぞお参りください

神付ふるさと村

まちの人達との交流で

地域の活性化を

土、日の昼時になると神付ふるさと村の交流館は食事をしたり、野菜談義に花を咲かす人達で大変賑わいます。近年特に食べ物に対する信頼が大きく損なわれていることから、自分で新鮮で安全な野菜を作ってみたいという人が増えてきたことも、利用者が増えることにつながっていると思います。

また、昨年から四十名程の会員が集まり下草刈りや間伐をして里山をきれいにする活動も始めました。この中から炭焼や、木工、きのこ栽培を楽しむグループも生まれ、それぞれが自分に合った活動をしています。また、先日も地域の人達と農園で野菜作りをしている人達や、里山で活動しているグループ五十名程が一緒になって、集落の中で桜の苗木を植えました。高齢化が進み、共同生活が維持しにくくなる「限界集落」手前



産土ロッジ

まできており、将来への不安はいろいろありますが、地域住民と農園利用者、森林ボランティアの交流を深めて活性化を取り戻したいと思っております。(岩田 格夫)

五町ウォーク-大沢編-

4月5日(日)9時30分
ふれあい農具館前集合
豊歳神社・光山寺・
天狗岩をまわる8.5kmコース

町内の皆様も一緒に
歩いてみましょう

※弁当・お茶は各自
ご用意ください

巣立ちのおめでとう

“巣立ちゆく皆さん、
おめでとつございます”

五名の元気なたんぽぽ組は、この一年間、三名のなでしこ組と、「仲よく、楽しく、元気よく」を合い言葉にして過ごしてきました。お兄さん、お姉さんらしく遊んでいましたね。これから今のやさしい心を忘れずに大きくなってくださいね。(幼稚園)

新しいことに挑戦する「新」真剣に取り組む「真」自分を伸ばそうとする「伸」親しみを持たれる人、親切、親友の「親」信用、信頼の「信」力強く前進する「進」真心を込める「心」、この七つのシンを大切に。(小学校)

第六十一回生、九名が三月十一日に無事卒業いたしました。入学以来、戸惑いながらも、共に支えながら学校生活を送ることができました。卒業後は全員が高等学校に進学を予定しております。今後とも、よろしくお願いいたします。(中学校)

今年の出会いの機会づくり

神付ふるさと村

近年全国の市町村、特に農村部では過疎化と少子高齢化が進み、大きな問題となっております。大沢町も例外でなく、その対策の一環とし、「出会いの場」を開催しています。

今年「子供に関する委員会」を中心に検討し、一緒に農作業等をする体験型の「出会いの場」を企画しています。会場を神付市民農園及び隣接の神付産土の森に移し、サツマイモの植付けやバーベキューを予定しています。対象者の多数の参加を町民の皆様にお見知り上げます。尚、当日は顔見知りの方には協力をお願いしています。お気軽に出来るだけ沢山の方々の参加をお待ちしています。(上西 寿)

平成二十一年六月二十一日(日)

神付ふるさと村(市民農園)

参加費 男性三千元

女性千円

申込 大沢連絡所「出会いの場」係

婦人会だより



のどかな山里にも春の訪れとともに、色とりどりの草花が咲き乱れ、絶好の季節となって参りました。先日の総会には多数ご出席頂きありがとうございました。会員の皆様方には日頃より婦人会活動にご協力いただき感謝いたしております。

二十一年度も多くの恒例行事が待っています。五月には、きたきたまつり・神戸まつり。六月には、輝きまつりと華やかなおどりで幕が開き、七月には、婦人市政懇談会と数多くの行事に一人でも多くの方に参加して頂き楽しんでいた

だければと思っております。

今年度も県民交流広場事業の料理教室を四回計画しています。一回目は六月一〇日に柏餅作りを予定しています。多くの方のご参加をお待ちしております。

今年度も皆様と共に、大沢の合言葉「ありがとつ」「お気を付けて」「お疲れ様でした」のやさしい言葉がかよい合う町を目指し、明るく、楽しく、元気に住み良い大沢町を実現するため皆さんと共に、微力ながら頑張りたいと思えます。皆様のご協力とご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。(和田 佳代子)

狂犬病予防注射のお知らせ

4月12日(日)

- 10:00~10:20 善入農業倉庫
- 13:30~13:50 上大沢農業倉庫
- 14:00~14:20 大沢連絡所
- 14:30~14:50 旧大沢公民館

神戸市北衛生監視事務所
担当 山口

青少協便り

「青少年 守ろう伸ばそう 地域から」

春の青少年育成市民運動が全市民一斉に展開されており、この期間は、子供さん達の成長にとって大切な意味を持つ時期です。どの子供さんも希望を持って次の学年の階段を上っていかうとしていきます。今、子供たちは自分自身の心に誓うもの、夢を膨らませるものを持ちます。私たちはそれを大切に見守り、励ましながら、支え育てていかなければなりません。

ご近所のお子さんへぜひ進級への暖かい激励をお願いします。また、日西原の小西鉄平君がこの度、本年度の「青少年を地域で讃える賞」を受けられます。地域への活動を評価されたものです。おめでとうございます。町民の皆様、二十一年度も、子供たちへの温かい見守りをお願いいたします。

(青少協支部長 和田耕次)

「大沢とフルーツ・フラワーパークから広がる食文化」

澄みきった青空、深呼吸したくなるようなおいしい空気…。大自
然に育まれた大沢の野菜を食べず
にはいられない。

こんな思いから地産地消協議会が発足したのは昨年二月のこと。

地産地消とは私達の身近なところで生産されたものを食べることで、逆に言えば私達が食べるものは、身近な地域で生産することではないか。そしてこのことは、これからの未来、子供達の食育にもつながる大切なことではないか。そんな大きなテーマを胸に、大沢町とフルーツ・

フルーツパークが一緒に取り組んでいます。そしてフルーツ・フラワーパークを発信源として、季節の食材をふんだんに取り入れ、春は竹の子、夏はトウ

モロコシ、秋は里芋、冬は黒豆などを地域に伝わる調理方法で提供することで郷土に根づいた食文化を発信します。

現在は、朝食バイキングを初めお昼のレディースランチ、夕食の釜飯に至るまで地産物を提供しています。

「これからも、のどかで素晴らしいこの大沢の土・水・空気から生まれた野菜を上手に料理してお客様に提供し続ける。そんなホテルでありたい」と心から願っています。(フルーツ・フラワーパーク ホテル部 部長 岩佐千代子)

ふれあい喫茶 やまびこ茶屋

今年度二回目の「やまびこ茶屋」

全体会を三月二五日、大沢地域福祉センターに於いて開催。楽しい腹話術、踊りと歌、皆の手拍子に合わせたの南京玉すだれ。最後は、

懐かしのメロディーをみんなで合唱しました。会場は、七十余名のおしゃべりと笑い声でなごやかな雰囲気になりました。

(高山潤子)



小畑学さん (八多町)

大沢農業者協議会の報告

左記の方々より善意のご寄付をいただきました。

蒲池研一様 (簾)

安井和子様 (簾)

大沢農業塾第六期生御一同様

榎本茂木様 (上大沢)

有意義に使わせていただきます。ありがとうございます。

おぼろげちゃんのおすめ

小松菜としめじの辛子和え

《材料》 四人分 小松菜二百g しめじ一パック 酒大さじ一杯 砂糖小さじ三分の二杯 辛子少々 濃口しょうゆ大さじ一杯

《作り方》 小松菜は茹でて食べやすい長さに切る。 しめじは小房に分けて、酒で炒って冷ましておく。 調味料を合せて小松菜としめじを和える。

きゃべつと油揚げのおかか和え 《材料》 四人分 きゃべつ三枚 油揚げ一枚 酢小さじ二杯 しょう油小さじ二杯 酒だし汁少々 削り節5g 万能ねぎ二本

《作り方》 きゃべつは茹でて食べやすい大きさに切る。 油揚げはフライパンでこんがり焼き、縦半分に切って、1cm幅の短冊に切る。

調味料を合せて と削り節を混ぜ合わせ、器に盛って、万能ねぎの小口切りを散らす。

八十路近くなつた私にもかんたんで、一寸変わったものもよいかと思います。(西 美代子)

サークル紹介

上大沢書道同好会

昭和六十三年より上大沢有志の皆さんにより始めた書道同好会も丸二十二年になりました。 大沢町他地区よりのご参加もあり、月一回のレッスンも和気あいあいです。

大沢町の芸術祭にも毎年参加させていたたく事で、皆の力作も、条幅、横額、色紙、茶掛、水墨画など、たくさんの作品が出来てい

...投...句...

俳句	下萌や水仙アイリス土上げて	正子
”	紅梅や木々の透き間で咲きしかな	佐代子
”	寒雀遊ぶを飽かずながめたり	弘枝
”	過疎の村猫と語う日向ぼこ	昭が
”	下萌やおさないのちのやわらかき	昭
”	花粉とぶ予報のラジオ春隣り	昭
”	あせみちや(に)農夫語らひ春隣り	昭
”	暇道歩む足裏下萌ゆる	昭
”	うぐいすの片言鳴きや春隣り	昭
”	梅の咲く隣の村へ橋ひとつ	昭
”	雄鳴きて戻る訝や雪解山	昭

ます。

今年も既に先月より、芸術祭に向けて一生懸命がんばっているところですよ。

本表装も、立派なものが格安で出来ます。皆様方も、世界に一つしかない力作に挑戦されては如何ですか。頭と手を使うことで、脳の活性化にもつながり、元気の素になるのではないのでしょうか。

大勢の皆様方のご参加を、一同お待ちしております。

(仲西 千鶴子)

行事経過

- 2/27 子供に関する委員会
- 3/5 体協役員会
- 3/7 婦人会総会

スポーツ情報

- 3/11 婦人会新旧役員会
- 3/15 消防春の訓練
- 3/22 ふれあい昼食会
- 3/24 資源集団回収

町民の動き

- 第五回大沢町民ゴルフ大会
- 優勝 平松武志さん(上大沢)
- 準優勝 小西元八さん(上大沢)
- 三位 辻井幸雄さん(上大沢)

つづこえ

- 2/23 中大沢 瀧脇智弘さん

おくやみ

- 3/16 上大沢 幸田 貢さん 95才
- 3/19 中大沢 小方克巳さん 83才

真帆ちゃんを